

パイプ潰しのマニュアル

パイプ潰しのマニュアル

2010/11/08 作成：藤田
修正：大村

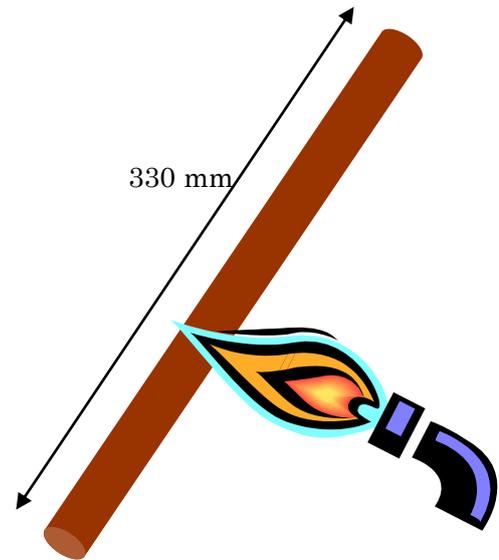
0,最初に

ここでは、学園祭時の研究室紹介で行うパイプ潰しの方法を紹介する。

基本的に2日以上前にパイプを作成しておき、前日にセッティングと予行を行うことを推奨する。

M2 主体で、作業するようにしましょう。

本マニュアルへのご質問等御座いましたら、藤田まで問い合わせして下さい。



1,パイプの作り方

- ①約 330 mmに銅パイプを切る。
- ②銅パイプをよく焼いておき、軟らかくしておく。

2,配線、セッティング

①下記の配線になるようにセットする。モニタするのはログスキーコイルのみ。

①銅パイプをしっかりと固定

②コンデンサーバンクを立ち上げる（実験室の0から順にスイッチを入れる）

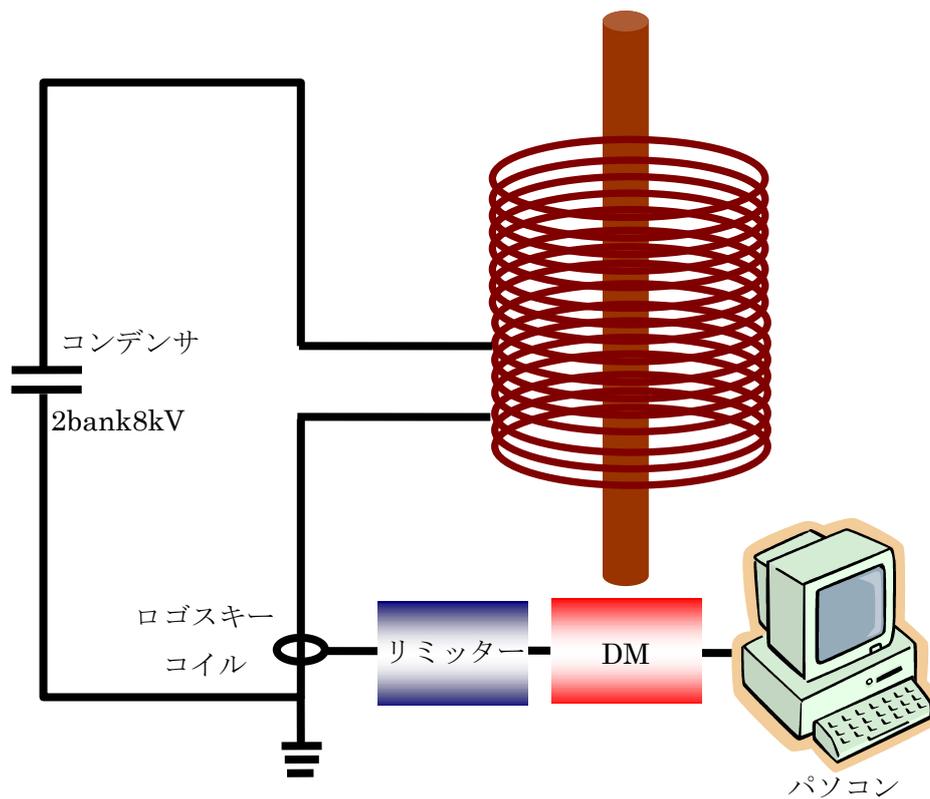
③バンク室でコンデンサを No.3 に切り替える。

④パルス幅は 0.45[msec]に設定

⑤lab view でモニタするのでソフトを立ち上げて、F4 キーで取り込み準備。DM 設定は 20 V(40 VFS)、サンプリングレイト 20 ns がお勧め。

⑥2bank 8kV 電圧放電する。

⑦①、③~⑥を繰り返す。



▲パイプ潰し図面

3,後片付け等

- ①マグネット立ち下げ。
- ②実験方法は代々引継ぎ学生が理解しておくように。